



平成 30 年 5 月 15 日

各 位

会 社 名 株式会社椿本チエイン
代表者名 代表取締役社長 大原 靖
(コード番号 6371 東証 第1部)
問合せ先 コーポレートコミュニケーション部 河合 健二
(TEL 06-6441-0054)

当社子会社における「品質検査工程における不適切な行為」について

このたび、当社の連結子会社である株式会社椿本鋳工（以下「鋳工」）が製造する鋳物製品の一部製品の品質検査工程において、不適切な行為があったことが判明いたしました。

このような事態を招いたことは誠に遺憾であり、お客様ならびに関係者の皆様に多大なご迷惑とご心配をおかけしましたことを、深くお詫び申し上げます。

本件の概要について、以下のとおりご報告申し上げます。

記

1. 子会社の概要
- ①社 名：株式会社椿本鋳工（当社 100%子会社）
 - ②所 在 地：埼玉県飯能市新光 20（当社埼玉工場内）
 - ③代 表 者：代表取締役社長 長友 貞行（ながともさだゆき）
 - ④事業内容：小物鋳物部品の製造販売（2017 年度売上高 19 億円）

2. 判明した事実

(1)対 象 製 品：球状黒鉛鋳鉄品（以下 F C D）、C V 黒鉛鋳鉄品（以下 F C V）、
ねずみ鋳鉄品のうち F C 3 0 0

(2)対象製品の出荷先社数： 22 社

(3)不適切な行為の概要：

2017 年 7 月 24 日に、鋳工が実施した品質保証部門の社内調査の結果、品質管理項目のひとつである「引張強さ・伸び」を検査するための別鋳込みのテストピース*を用いた引張検査において、以下の不適切な行為があったことが判明しました。

①検査成績表への他データの流用

テストピースの引張検査が納期に間に合わず、一部のお客様に対し、検査成績表に過去の検査データを流用して提出していたこと。

②一部検査結果データの改ざん

引張検査の結果が基準に満たなかった場合に、修正した値を社内の品質記録に残していたこと。

なお、「引張強さ・伸び」以外の品質管理項目（成分、硬さ、黒鉛球状化率・組織、完成品検査等）は、製品を使用して正しく検査できております。

*テストピースについて：

小物鋳物部品は、製品を使用しての引張検査が困難であるため、該当製品と同じ溶湯（材料）で別途試験片（テストピース）を製作し、規定の形状・寸法に加工した上で引張検査を実施しています。

3. お客様への影響

- (1) 今回対象となった製品について、当社では、対象製品の鋳造工程における他の品質管理項目に関する記録の解析により、お客様が要求される品質基準を満たしているものと判断しております。
- (2) お客様には、今回の事態についてご説明をさせていただいております。また、お客様からのご指摘事項については真摯に受け止め、適切に対応させていただいております。

4. 本件を受けての当社の対応

(1) 鋳工での是正措置

本件が判明した直後より、①テストピースの加工・検査方法の改善による、検査期間の短縮・検査の安定化、②データの取扱い、検査成績表の発行手順の見直しと周知徹底、の是正措置を実施いたしました。

2017年8月1日製造分から適切な品質管理の下、製品を出荷しております。

(2) 出荷製品の品質確認

今回の対象となる製品の納入先は 22 社と限定的であったため、当社では製品の品質確認、および対象製品を購入いただいているお客様へのご説明を最優先とさせていただきました。

(3) 鋳工のその他製品について

鋳工のその他製品の品質検査工程について検証した結果、一部引張検査の遅れ等が判明しましたが、検査結果は基準を上回るものであり、お客様が要求される品質基準を満たしております。

(4) 当社グループでの対応

今回の事態を受けて、弁護士・独立役員等が参加する社内調査委員会を設置して、事実関係の調査、原因の究明および是正措置の検証を行い、さらなる再発防止策を鋳工に提言しました。

また、グループ会社を対象に品質検査工程の社内調査を実施し、さらに、2018年4月1日付で本社部門に品質管理部を新設し、グループ会社全体の品質管理強化に向けた措置を実施しております。

当社では、今回の事態を重く受け止め、引き続き再発防止と品質管理の強化に取り組んでまいります。

5. 業績に与える影響

本件が当社の連結業績に与える影響は、現時点では軽微であると判断しておりますが、重要な影響を及ぼすことが明らかになった場合には、速やかに公表いたします。

以上

補足資料

1. 鋳物とは：溶かした金属を型に注入し、冷やし固めて成形した製品のこと。

複雑な形状の部品も簡単に1個でも数万個でも同じものが製作できることが特長。

2. 橋本鋳工の取り扱い製品

種類	材 質		
ねずみ鋳鉄品	FC200、FC250	自動車用鋳物	今回不適切な対応 が発覚した製品
	FC300	産業機械用鋳物	
球状黒鉛鋳鉄品	FCD450、FCD500、FCD600、FCD700、	自動車用鋳物	
C V 黒鉛鋳鉄品	FCV350、	産業機械用鋳物	
合金鋳鉄品	クロモリ	産業機械用鋳物	

橋本鋳工で製造する小物鋳物製品：
重量1kg/個以下、平均300g/個



(自動車用鋳物)



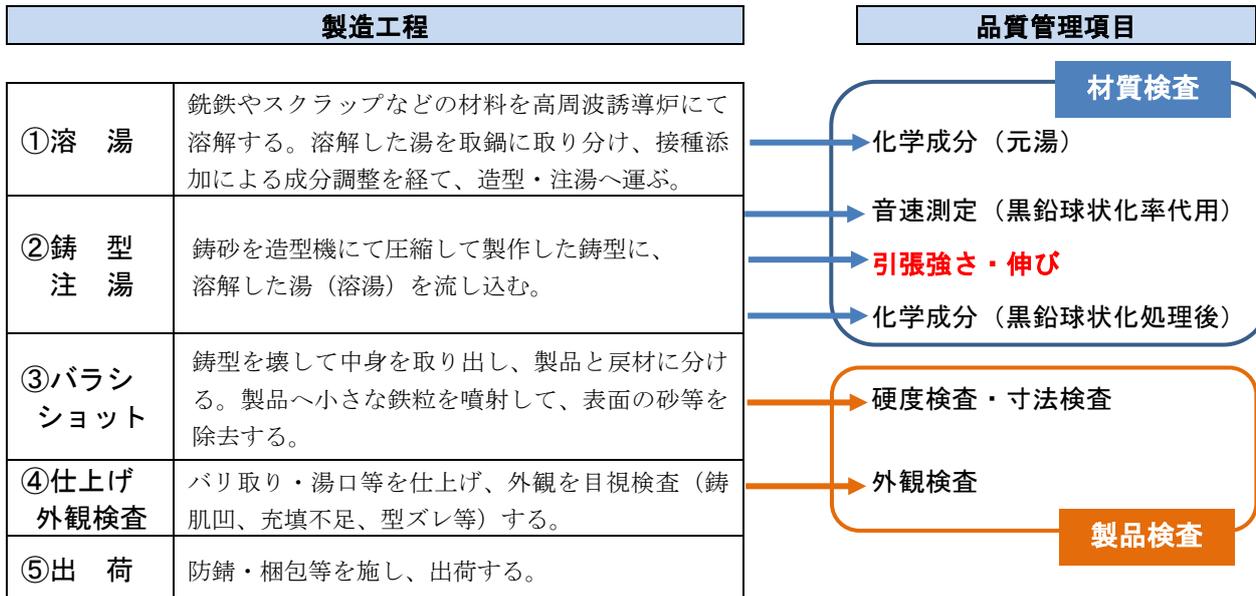
(産業機械用鋳物)

3. 鋳物の製造工程と品質管理項目

下記品質管理項目のうち、「引張強さ・伸び」は、別鋳込みのテストピース（試験片）を使用して行う。具体的には、該当製品と同じ溶湯（材料）で別途テストピースを製作し、規定の形状・寸法に加工した上で引張検査を実施する。（「引張強さ・伸び」以外の検査は実際の溶湯・製品を検査する）

*別鋳込みのテストピースを使用する理由：

鋳工製品は小物鋳物であり、製品から鋳物を製作することや同時鋳込みが困難であるため



4. テストピースと製品（例）



以上